政策研究センター　リサーチ・プロジェクト　成果報告書

提出日:

申請者(リーダー):

氏名	職名
竹中　治堅	教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文)	政治改革以降の政策決定過程と不均一な選挙制度の関係
(英文)	Effect of inconsistency of electoral systems across different levels of aministrative units

期間(yyyy/mm/dd): 2020/4/1　から　2021/3/31　1年間

共同研究者:

	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1	上神貴佳	教授	国学院大学教授	
共同研究者2				
共同研究者3				
共同研究者4				
共同研究者5				

リサーチ・プロジェクトの目的

本研究の目的は1994年以降の政策決定過程において首相の指導力に衆議院、参議院、地方議会の選挙制度の不均一性の関係をを明らかにするとともに首相が関心を持つ政策の実現可能性への衆議院、参議院、地方議員の持つ権限が及ぼす影響を分析することである。

研究成果の概要(800字程度) ※新型コロナウィルスの影響により、予定どおりの実施が難しかった場合にはその理由:

本研究は選挙制度の不均一性が及ぼす影響について衆議院と参議院の選挙制度、また中央と地方の選挙制度を均一にすれば政党政治により両院は連結される一方で政党政治は全国化される上、衆議院の多数勢力を通じた統治が参議院や地方議会にも及ぶことが予想されることを明らかにした。同時に衆議院と参議院の選挙制度、また中央と地方の選挙制度が均一にならないこと許容すれば、衆議院に対して参議院の独自性が、中央政府に対して地方政府の独自性が強調され、異なる政府部門の自律性が保たれる結果、政府の権力行使は抑制されることも明らかにした。また本研究は政策決定過程に選挙制度の不均一性が及ぼす影響に着目した際に、地方公共団体が権限を行使する上で地方議会が一定の影響力を及ぼすことを前提としていた。ただ、研究の結果、明らかになったのはコロナ危機のように地方公共団体の権限が問題になる場合には知事が持つ権限が中央政府の政策に大きな影響を及ぼすということである。すなわちコロナ危機の発生以降、感染抑制策y医療体制を確保する上では首相の指導力は制約され、都道府県知事が大きな影響力を持った。このことは先行研究が示すように政党組織の発展には選挙制度の均一性、不均一性が大きな影響力を及ぼす。しかし、そもそも知事を選出する選挙制度は衆議院との均一性が高いとも言え、政策決定過程においては選挙制度の均一性、不均一性の影響を分析する際には地方公共団体の中における知事と議会の間の権限配分、また二元代表制の持つ影響を合わせて考慮する必要があると言える。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAの具体的な仕事内容を記載してください。また、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)があれば必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:
(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

	著者	2 件 標題	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・出版者等	巻・号 /章・節	件 発行年	開始ページ	終了ページ	0 査読(有=1)	0 国際共著(yes=1)	DOI	0 オープンアクセス(yes=1)
1	上神貴佳	選挙制度は今のままでよいか	『論究ジュリスト』	2020年春号	2020	39	-46				
2	竹中治堅	『コロナ危機の政治：安倍政権vs.知事』	中公新書		2020		-				
3							-				
4							-				
5							-				

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

	著者・編者	0 件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1					
2					
3					
4					
5					

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

	報告者等	0 件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1					
2					
3					
4					
5					